

中古ピアノ購入の注意点・選び方

中古ピアノの選び方は非常に難しいのです。
中古ピアノはどのような特徴があるか、気をつけないといけない点や失敗しないための選び方をお答えします。



その1 中古ピアノの見極め方

中古専門のピアノ屋さんがよく言う言葉に「昔のピアノのほうが良い木材を使っていたから、新しいピアノより良い」というのがあります。それは本当なのでしょうか？この言葉は、不適當な内容に思えます。ピアノは弦を叩くアクション部品は数千で構成されており、非常に複雑です。その為、調整されていないものや古くなった部品があるピアノですと不具合を生じます。

響板も使用年数により、どのようなピアノであっても劣化します。それを計算しなければ同じ状況での評価ができません。

あくまで中古ピアノは必ずデメリットもあるものだと考えましょう。では、寿命を決める要素は何なのか。色々要素がありますが、最も適當な決定要素は、「響板」といえます。

響板に関しては交換すると新しいピアノを買うくらい費用がかかります。そこまで修理をして利益ができる中古ピアノは考えずらく、まずフルオーバーホールは行いません。響板の寿命は弦の張力に関係します。ピアノの弦は1本あたり80キロの張力、全部で約20tの張力という強い力をフレーム・支柱で支えています。

しかし、長い年月（一般的には30年～40年）たつと響板の※「ムクリ」が失われます。その時期にいわゆる寿命がおとずれます。これは、必ずピアノであればメーカー問わず起こってくる症状です。また響板以外のアクションや弦なども交換すると十数万円単位での修理費用が発生します。音色を作るハンマーフェルトも長期間使用すると弦溝も深くなり、何度も調整してフェルトの厚みがなくなると、交換が必要になります。

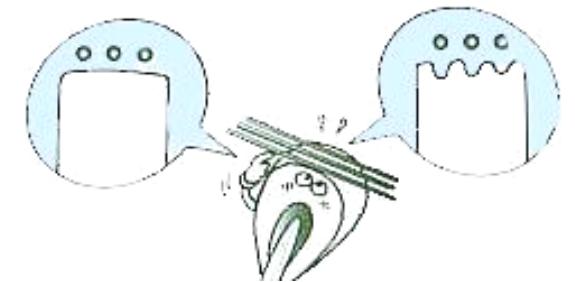
そして、その判断はそのピアノを調律してきた調律師でないと判断が付きにくく、いつ症状ができるかは予測ができません。そのような要素を考えなければ古いピアノが良いとは言い切れません。

※響板には、音の伸びやかさや音量の豊かさを実現する為に「ムクリ」という曲線加工が施されています。



新しいピアノの響板（新品）
キレイな曲線を保っています。
豊かな響き・音量があります。

古いピアノの響板（中古）
曲線を維持できず、沈下する。
響きが減少し音に張りが無くなる



長期間使用するとフェルトには弦溝ができ、何度か整形するとフェルトが小さくなり寿命を迎えます。

その2 中古ピアノのメリット・デメリット

では中古ピアノのメリットは何でしょう?それは、「**価格が安い**」事です。逆に言えば、それ以外はデメリットでもあります。

例えば、もともと新品時100万円する高価なピアノあっても20年もたっていれば劣化しており、高いからといって劣化しないことはありません。寿命はあと10数年というところでしょうか。劣化した木材では、低価格の新品ピアノの方が正確な鍵盤動作や豊かな響きがあります。使用期間が10年以下の方でそのピアノを使い切るという方にはメリットになりますが、それ以上の期間使用する方には適していません。

その3 中古ピアノの選び方(年代)

では、中古ピアノを選ぶ場合は、何に気をつければよいか。重要な点は大きく**①響板②フェルト③弦④アクション**を見る必要があります。ただこのような箇所を見る場合は専門性が必要で、一般の方では判別が付きません。信頼のおける調律師やアドバイザーに選んでもらう方法もありますが、ある程度不具合の出づらいピアノを選ぶ方法として製造番号をみる方法があります。

比較的新しいピアノのほうが故障リスクも少なく、響板のムクリも保っている為、安心です。製造番号の記載のないピアノは問題外で年代の特定ができないピアノの購入は控えたほうが良いでしょう。

その3 中古ピアノの選び方(オーバーホールされたピアノ)

低価格であることは中古のピアノにある最大の魅力です。しかしリスクもあり、リスクをすこしでも回避するには、**発売より15年くらいまでの**ピアノを選ぶ。**メーカー工場(※新品を製作するための設備がないところでは、再生が困難な為)での再生修復されたもの**。前の使用者がどのような使い方をしていたか?(履歴のはっきりしたもの)を聞くなどがあります。

またオーバーホールをしたピアノの場合、修理箇所が説明できる。また、フルオーバーホールをした等の説明は注意が必要です。右記のパターンは以外に悪い条件です。

○2.3年しか使用しておらず、20年経過したピアノ。⇒未使用ピアノに期間をあけて調律をすると不具合が発生しやすい。

○使用期間が3年だが、音大生が使用していた・ピアノ教室で使用していた。⇒通常の劣化スピードの何倍の進捗。

○フルオーバーホールしました⇒費用が非常にかかるため利益が出ない為、普通は行わない。修理箇所が説明できない。



■機種名/製造番号の確認方法

カワイアップライトピアノは、本体内部のフレーム右端に機種名、フレーム中央やや左寄りのエンブレム下に製造番号が記載されています。